



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四十号）

芒種 ぼうしゅ

六月五日

企画展「パール海の宝石、神秘の輝き」

六月の誕生石は、真珠。その神秘的な輝きは、古くから人々を魅了してきました。三重県立博物館ミエムでは開館十周年を記念する企画展「パール海の宝石、神秘の輝き」が開催中です。世界で初めて養殖真珠に成功した三重県での大規模な真珠の展覧会。会場には、今からおおよそ五五〇〇年前の天然真珠である福井県若狭町鳥浜貝塚から出土した「鳥浜パール」や、江戸時代の「御喰出」という、藩主が食べた貝から見つかった大村湾の天然真珠などが展示され、真珠の意外な歴史を知ることが出来ました。また、ペルシャ湾で採取された天然真珠が高く評価され、ヨーロッパで宝飾品として加工された品々には、ジュエリーとしての真珠の歩みがまずはヨーロッパから始まったことがわかります。

三重県も天然真珠の採取地として知られており、とくに伊勢志摩地域の真珠は古くから献上品として都に運ばれ、江戸時代になると医薬品として用いられていました。

そして明治時代、画期的な出来事があります。明治二六年（一八九三）、鳥羽の御木本幸吉が半円真珠の養殖に成功。のちにまん丸い真円真珠も成功し、養殖真珠が本格的に生産されます。技術の発展により、真珠の大きさや色、形に統一性が見られるようになります。天然真珠の特徴が多様性だとすると、養殖真珠の特徴は統一性です。その強みを生かしたジュエリーの数々にも魅了されました。

昭和三年、皇室に献上された瑞鳳扇と、天然と養殖、アワビから出来た真珠などが用いられた軍配扇は見応えがあります。三重県ゆかりの真珠について、さまざまな視点から知ることができる企画展。その輝きに魅了されます。六月十六日まで。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 梅雨のおかげ横丁

6月11日頃は「入梅」といわれ、シトシトと降る「走り梅雨」がやって来て、本格的な梅雨になります。雨が続く梅雨の季節におかげ横丁で、しっとりとした風情に包まれながら、心に残る素敵な思い出を作りませんか。

日 時／6月15日(土)～6月23日(日) 10:00～17:30(催しにより異なる)
場 所／おかげ横丁一帯

● 企画展「伊勢の苔展」

水に濡れて美しく輝く苔は、この季節だからこそ楽しめるもののひとつです。見ているだけでも癒される苔の世界をお楽しみください。

日 時／6月15日(土)～6月23日(日) 10:00～17:00
場 所／孫の屋三太前「特設会場」
協 力／岡山コケの会伊勢支部

● 伊勢型紙を使ったてるてる坊主づくり

伊勢型紙で型染めした布を使ってオリジナルのてるてる坊主が作れます。
日 時／6月15日(土)～6月23日(日) 10:00～17:00(16:30受付終了)
場 所／伊勢路栽苑
料 金／600円(税込)

● エコ参宮

神宮周辺を歩きながら植物や苔を鑑賞するエコ参宮。
草木や花や苔を通じて伊勢を感じながら、自然に親しんでいただけます。
日 時／6月17日(月) 10:00～12:00
講 師／谷口知子(伊勢の苔玉やさん、岡山コケの会伊勢支部会長)
参加費／500円(保険、資料代)
定 員／20名 ※要予約
持ち物／筆記用具、タオル、飲み物
集合場所／宇治神社

お問い合わせ/おかげ横丁総合案内「おみやげや」 電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ コミュニケーションの心理学

コロナ禍を経験して、人とのコミュニケーションの方法は大きく様変わりしました。マスクをしたままの会話やオンラインでの会議が当たり前になり、感染リスクは軽減し、時間の有効活用が可能となりました。しかし、細やかなニュアンスが伝わりにくい、相手の感情が読みにくい、といった印象をもったことはないでしょうか。円滑で快適なコミュニケーションをとるために大切なポイントについて心理学の面から芳賀先生にお話を伺います。

日 時／6月17日(月) 13:30～15:00

場 所／五十鈴塾右王舎

講 師／芳賀康朗(皇學館大学文学部コミュニケーション学科教授)

参加費／一般 1,400円 会員 900円

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

び
枇

わ
杷

枇杷の実が鮮やかに色をつける頃となりました。枇杷は果実の美味しさはもとより葉に薬効があり、古くから、病を癒すために用いられたと伝えられています。黄身餡を外郎生地で包み、甘く瑞々しい枇杷の実を表現しました。

なつ
夏

ごろも
衣

六月は衣替えの月。昔の人々もこの時季には、帷子(かたびら)という麻で織った薄い夏物へと衣替えをしていたといいます。薄紅と緑に染め分けた餡を、透明な葛生地で巻き、涼しく軽やかな夏衣の風情にみたまました。

よ ひら
四 片 の

はな
花

四片の花とは、あじさいの別称。四枚の花びらがたくさん集まった姿から、その名が生まれたと言われます。薄紫の錦玉を淡雪で寄せ、白餡を包みました。